

ディーゼル燃料噴射ポンプ

社会人として初めて手がけた仕事は、国際宇宙ステーション与圧部で行われる微小重力環境利用実験の実験装置の開発であった。加熱ディスプレイ周辺の熱解析をし、エネルギーロスが低く抑えられるディスプレイホルダの材料を探し、変更提案をした。受け入れられたことに喜んだ反面、本当に大丈夫だろうか、と不安だったのを今でも覚えている。打ち上げ前に離職したが、無事に実験が遂行されたのを知った時は一人ひとりに誇らしく思った。ボッシュに転職後、

凛としていきる

理系女性の挑戦

課題のその先を見据えて



ディーゼル用燃料噴射ポンプの高圧部設計を担当した。量産品であることで、使用される金属材料のグレードの違いや後工程への考慮の多さに戸惑いつつも、燃料噴射系システム20MPa上昇に対する高圧交差部の強度

解析や設計を行った。ワールドワイドの核となるプラットフォームプロジェクトであり、国外工場とのやりとりで現場に直行できないもどかしさはあったが、世界の広がりを感じた。その後、開発拠点のドイツに赴任し、製品のプロジェクトマネージメントを経験。現地でFMEA

M(設計の変更点・変化点に注目した設計レビュー手法)を知る。現在、未然防止活動や組織的な知の共有(ナレッジマネージメント)、教育機会の情報提供など多角的な開発サポートをしている。製品開発に直接関わっていたころを振り返ると、反省することも少なくない。

キャリアという点で性差を気にしたことはないが、不都合が全くなかった、といえはうそになるかもしれない。同期入社がおりず、社内の動きに関する情報の入りづらさを感じていた折、2009年に社内女性ネットワークwomen@bosch(w@b)が日本において会社主導で立ち上がる。任意参加だが、他部門、他事業部への興味を広げる機会となり、実務へも考慮すべきヒントが得られた。昨年、育児休暇から復帰した時、w@bメンバーは温かく迎えてくれ、今でも心強い仲間だ。

エンジンアの一步を踏み出して18年目。悩んだ時は「とりあえず目の前の課題を越えよ」と腹に据えて物事にあたってきた。これからは課題のその先を見据えて着実に歩みを進めたい。

(故障モードと影響解析)の社内資格を取得、帰国後にDRBF(ドイツ赴任時の上司と同僚とともに、担当製品の量産開始を祝って

エンジニアの一步を踏み出して18年目。悩んだ時は「とりあえず目の前の課題を越えよ」と腹に据えて物事にあたってきた。これからは課題のその先を見据えて着実に歩みを進めたい。

エンジニアの一步を踏み出して18年目。悩んだ時は「とりあえず目の前の課題を越えよ」と腹に据えて物事にあたってきた。これからは課題のその先を見据えて着実に歩みを進めたい。

エンジニアの一步を踏み出して18年目。悩んだ時は「とりあえず目の前の課題を越えよ」と腹に据えて物事にあたってきた。これからは課題のその先を見据えて着実に歩みを進めたい。



田中 恵

プロフィール 1975年生まれ。98年大阪府立大学工学部機械システム工学科卒。02年ボッシュ入社。JW E F 個人会員。